### 2022 年度(令和 4 年度)

### 事業 報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)



2023年5月25日

学校法人 帝塚山学院

### 

1	<b>法人の概要</b>	
	1 設置する学校・学部・学科等	P 1
	2 学校法人組織構成図	P 2
	3 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要	P 3
	4 役員・教職員の概要	P 5
	(1) 理事会	
	(2) 評議員会	
	(3)教職員数	
	別表 1	P 8
${\rm I\hspace{1em}I}$	法人事業の概要	
	1 本学院の状況	P10
	1 本学院の状況	PIC
Ш	2022年度 帝塚山学院の事業報告の骨子	
	1 法人本部	P12
	2 幼稚園	P13
	3 小学校	P14
	4 泉ヶ丘中学校高等学校	P15
	5 中学校高等学校	P17
	6 大学・大学院	P18
	7 2022年度学生異動及び卒業生の進路	P22

### IV 財務の概要

1	2022年度決算の概要	P	<b>P</b> 34
	(1) 財産目録		
	(2) 資金収支計算書		
	(3)活動区分資金収支計算書		
	(4) 事業活動収支計算書		
	(5)貸借対照表		
	(6) 収益事業 貸借対照表		
	(7) 収益事業 損益計算書		
2	経年比較	ם	<b>P</b> 44
4	1 - 2	Г	44
	(1) 資金収支の推移		
	(2) 事業活動収支の推移		
	(3) 貸借対照表の推移		
	(4) 財務比率表の推移		

### I 法人の概要

### 1. 設置する学校・学部・学科等

(1)帝塚山学院幼稚園 (園長:田中 幸枝)

(2) 帝塚山学院小学校 (校長: 神原 利浩)

(3) 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 (校長:江口 宗茂)

(4)帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 (校長:江口 宗茂)

(5) 帝塚山学院中学校 (校長:瀧山 恵)

(6) 帝塚山学院高等学校 (校長:瀧山 恵)

(7) 帝塚山学院大学 (学長:津田 謹輔)

学部 リベラルアーツ学部 リベラルアーツ学科

人間科学部キャリア英語学科

(2020年4月より募集停止)

情報メディア学科

(2020年4月より募集停止)

心理学科

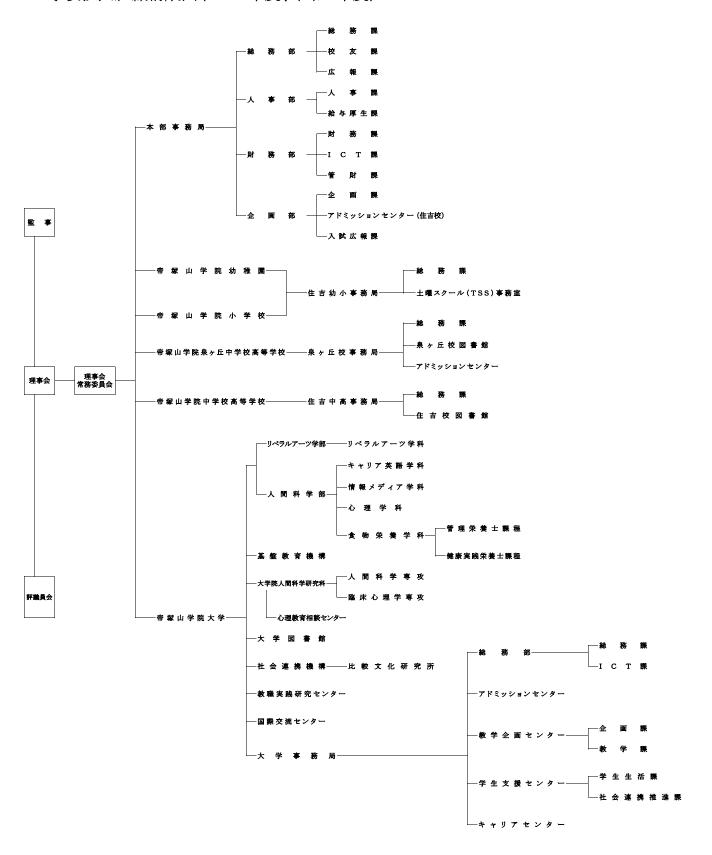
食物栄養学科

大学院 人間科学研究科 人間科学専攻

人間科学研究科 臨床心理学専攻(専門職)

※ 2024年4月開設を目指し、リベラルアーツ学部、総合心理学部、食環境学部の3学部化へ 届出申請中。

### 2. 学校法人組織構成図(2022年度、令和4年度)



### 3. 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の概要

### 2022年5月1日現在

		定	員	現員					合計	
	学部•学科名等		収容定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年以上	
		八十足貝	以谷足貝	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)	4+	34	0千以工	
	帝塚山学院幼稚園	50	160	48	56	54				158
	帝塚山学院小学校	120	720	122	114	114	113	110	107	680
古松兴长	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	173	167	155				495
高等学校 以下	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	310	325	276				911
	帝塚山学院中学校	200	600	268	275	254				797
	帝塚山学院高等学校	250	750	283	248	220				751
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,204	1,185	1,073	113	110	107	3,792
	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	120	480	144	144	171	127	10	1	597
	リベラルアーツ学部計	120	480	144	144	171	127	10	1	597
	人間科学部									
	キャリア英語学科	_	30				45	4	0	49
大学	情報メディア学科	_	50				65	7	1	73
	心理学科	130	520	159	160	127	105	6	4	561
	食物栄養学科 管理栄養士課程	80	320	84	73	87	76	0	3	323
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	40	160	27	31	39	42	4	5	148
	人間科学部計	250	1,080	270	264	253	333	21	13	1,154
	大学学部計	370	1,560	414	408	424	460	31	14	1,751
	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	1	0					1
大学院	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	20	19					39
	大学院計	30	60	21	19	0				40
	合 計	1,460	5,170	1,639	1,612	1,497	573	141	121	5,583

### (参考)2023年5月1日現在

	学部•学科名等		[員			現	員			合計
			収容定員	1年 (3歳児)	2年 (4歳児)	3年 (5歳児)	4年	5年	6年以上	
	帝塚山学院幼稚園		160	51	49	56				156
	帝塚山学院小学校	120	720	101	121	114	114	112	107	669
<del>-</del> ****	帝塚山学院泉ヶ丘中学校	160	480	152	172	166				490
■高等学校 ■ 以下	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	280	840	319	306	317				942
	帝塚山学院中学校	200	600	264	268	268				800
	帝塚山学院高等学校	250	750	271	277	244				792
	高等学校以下計	1,060	3,550	1,158	1,193	1,165	114	112	107	3,849
	リベラルアーツ学部									
	リベラルアーツ学科	120	480	162	133	135	167	14	2	613
	リベラルアーツ学部計	120	480	162	133	135	167	14	2	613
	人間科学部									
	キャリア英語学科		30	_	_	_	_	6	2	8
大学	情報メディア学科	_	50	_	_	_	_	6	2	8
	心理学科	130	520	136	152	148	123	14	6	579
	食物栄養学科 管理栄養士課程	80	320	80	82	71	83	1	1	318
	食物栄養学科 健康実践栄養士課程	40	160	32	23	27	38	4	5	129
	人間科学部計	250	1,080	248	257	246	244	31	16	1,042
	大学学部計	370	1,560	410	390	381	411	45	18	1,655
	人間科学研究科									
	人間科学専攻	10	20	0	1					1
大学院	人間科学研究科(専門職)									
	臨床心理学専攻	20	40	25	19					44
	大学院計	30	60	25	20					45
	合 計	1,460	5,170	1,593	1,603	1,546	525	157	125	5,549

### 注1.) 帝塚山学院大学では2019年4月より入学定員を下記のとおり変更。

帝塚山学院大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科130名から120名に変更帝塚山学院大学人間科学部キャリア英語学科50名から30名に変更帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科70名から50名に変更帝塚山学院大学人間科学部心理学科150名から130名に変更

注2.) 帝塚山学院大学では2020年4月より下記の学科を募集停止。

帝塚山学院大学人間科学部キャリア英語学科 帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科

### 4. 役員・教職員の概要

(1)理事会(2022年度内異動を含む)

**■理事** 定員:12人以上25人以内 現員:16人 **※**は非常勤

理事長野村正朗 常務理事 柏 木 孝 事業理事 萩 原 理 事 今 井 幸 子 ※ 理 事 江口宗茂 玾 事 河 田 悌 一 ※ 理 事 北 本 理 事 瀧 山 恵 理 事津田謹輔 理 事 寺田 千代乃 ※ 理 事 土肥孝治※

理 事 野 村 明 雄 ※ 理 事 原 充 弘 ※

理 事 福 田 順太郎 ※ 理 事 山 田 昌 子 ※

理 事 山 本 雅 弘 ※

■監事 定員:2人又は3人 現員:3人 ※は非常勤

監事大西弘之監事本井文夫※監事山根敬介※

■理事会、理事会常務委員会の開催回数

2022年度 理事会:4回

理事会常務委員会:15回

- ■理事会、理事会常務委員会の議事内容 別表1参照
- ■役員賠償責任保険加入状況 日本私立大学協会の役員賠償責任保険に加入
- ■役員の責任限定契約締結状況 非業務執行理事(非常勤理事)9名、監事3名が契約を締結

### (2)評議員会(2022年度内異動を含む)

評

議員

評 議 員

Щ 田

脇田

■評議員 定員:30人以上52人以内 現員:40人 ※は非常勤 評議員 秋 田 悦 子 ※ 評 議員 田 太 郎 ※ 有 評 議 員 井 元 成 浩 今 井 評 議 員 幸 子 **※** 評 議 員 植 宏 ※ 田 嗣※ 評 議 員 畄 本 敏 評 議 員 柏 孝 木 評 神原 利 浩 議員 評 議 員 北 本 暢 評 議 員 下 彦 木 敏 \* 員 弓 **※** 評 議 神 Щ 眞 評 議員 五. 味 義 文 ※ 評 \* 議 員 須 藤 健 評議員 史 砂 野 有 評 議 員 田 中 幸 枝 評 議 員 谷 正 央 ※ 評議員 宗 光 ※ 谷 評 議 員 田 村 浩 評 議 員 津 田謹 輔 評 議 員 筒 井 規 子 評 鶴 議 員 﨑 裕 雄 ※ 評 議 員 中 村 浩 **※** 評 議 員 浦 壽 子 ※ 西 評議員 西 川隆 蔵 評 議 員 野 村 正 朗 評 議員 原 武 萩 評 議 員 長谷川 正 ※ 井 啓 評 議 員 平 **一 ※** 評 議 員 亚 田 康 夫 ※ 評 議員 廣 冨 以 ※ 靖 明 評 議 員 福 原 伸 評 議員 古 Ш 繁 浩 ※ 評 議 員 細 Ш 博 **※** 評 議 員 松本 司 **※** 隆 評 議 員 松山 文彦※ 道 野 評 議 員 充宏※ 山口 多賀幸 ※ 評 議員 員 評 議 Щ 下 章

昌

子 ※

忠昭※

2022/10/29付就任

### ■評議員会の開催回数 2022年度 評議員会:3回

### (3)教職員数(2022年5月1日現在)

(教員)

		専任	任期制専任	常勤·契約	特任	非常勤	計
帝塚山学院幼稚園	6	3	2		1	12	
帝塚山学院小学校		30	7	5		18	60
帝塚山学院泉ヶ丘中	54	11	28		30	123	
帝塚山学院中学校高	§等学校	60	6	16		68	150
帝塚山学院大学	リヘブルアーツ学部	15	3	0	2	118	184
	人間科学部	28	5	4	9	110	104
大学院		2	1	1	0	11	15
合計	195	36	56	11	246	544	

(職員)

(机具)						
	専任	任期制専任	契約	派遣	アルバイト	計
法人本部	18	5	10	1	1	35
住吉校幼小事務局	3	2	4	2	10	21
泉ヶ丘校事務局	5	1	7	4	4	21
住吉校中高事務局	3	2	3	8	3	19
大学事務局	22	6	16	10	6	60
合計	51	16	40	25	24	156

### 別表1 ①理事会の審議事項

開催年月日	監事の 出席	議事内容
		第1号議案:理事長 選任について
		第2号議案:学院長 選任について
令和4年4月1日	有	第3号議案:理事長職務代理者 選任について
		第4号議案: 常務理事 選任について
		第5号議案:事業理事 選任について
		第1号議案:2021年度事業報告および決算について
令和4年5月25日	有	第2号議案:理事の競業取引等 承認について
		第3号議案:各設置学校学則一部変更について(幼稚園、小学校)
		第1号議案:2022年度 補正予算について
		第2号議案:中学校高等学校 校長、副校長、教頭 選任について
令和4年10月28日	有	第3号議案:評議員の辞任、退任および選任について
		第4号議案:学校法人帝塚山学院 顧問規程 一部変更について
		第5号議案:大学学則 一部変更について
		第1号議案:2023年度 事業計画、当初予算について
		第2号議案:学長、副学長、大学院研究科長 重任について
		第3号議案:本部事務局長 選任について
		第4号議案:理事、評議員 退任、重任及び選任について
令和5年3月23日	有	第5号議案:理事長職務代理者 重任について
		第6号議案:各設置学校学則 一部変更について(泉ヶ丘高等学校、高等学校、大学、大学院)
		第7号議案:内部監査室の設置並びに関連諸規程 制定及び一部変更について
		第8号議案:役員賠償責任保険 契約更新について
		第9号議案:学長選考会議委員 重任について

### 別表1 ②理事会常務委員会の議事内容

別	0 = 7	伤安貝云り戦争  行
回数	開催年月日	議事内容
2022年度 第1回	令和4年4月14日	教職員人事関係
		「帝塚山学院 給与規程」「帝塚山学院大学 特任教授採用規程」の一部変更について
		2021年度事業報告および決算について
2022年度	令和4年5月11日	理事の競業取引等 承認について
第2回	1. 1 1	幼稚園園則、小学校学則 一部変更について
		理事会、評議員会の議案について
2022年度	令和4年5月19日	教職員人事関係
第3回	13-14-1 07-110-1	「帝塚山学院 公益通報者保護規程」の全部変更について
2022年度 第4回	令和4年6月9日	資金運用委員会委員 委嘱について
		教職員人事関係
2022年度 第5回	令和4年7月14日	「学校法人帝塚山学院 顧問規程」 「学校法人帝塚山学院 学院長賞授与規程」 「学校法人帝塚山学院 法人車運転手服務規程」 「学校法人帝塚山学院 創立100周年記念奨学金規程」 「学校法人帝塚山学院 創立100周年記念奨学生選考委員会規程」の一部変更及び 「学校法人帝塚山学院 創立100周年記念誌編纂委員会(内規)」の廃止について 理事会常務委員会が推薦する2022年度 教育後援会 幹事(案)について
2022年度	令和4年8月4日	教職員人事関係
第6回	17年4十0月4日	
2022年度 第7回	令和4年9月8日	「学校法人帝塚山学院 給与規程」 「学校法人帝塚山学院 給与規程施行細則」 「帝塚山学院大学 学院改革会議・大学部会規程」 「帝塚山学院大学 個人研究費に関する規程」の一部変更及び 「帝塚山学院大学外部評価委員会規程」の廃止について
		評議員の退任および選任について
2022年度 第8回	令和4年10月13日	2022年度 補正予算について
		10月27日開催 評議員会、10月28日開催 理事会の議案について
2022年度 第9回	令和4年10月20日	大学学則 一部変更について
2022年度 第10回	令和4年11月10日	「学校法人帝塚山学院 衛生管理規程」 「学校法人帝塚山学院 ストレスチェック実施規程」の一部変更について
2022年度	令和4年12月8日	教職員人事関係
第11回	17114-127101	「帝塚山学院大学特任教員採用規程」の一部変更について
2022年度 第12回	令和5年1月12日	教職員人事関係
		教職員人事関係
2022年度 第13回	令和5年2月16日	2023年度 役員賠償責任保険制度 契約更新について
N110년		「学校法人帝塚山学院 事務組織規程」の一部変更について
		教職員人事関係
		理事、評議員 退任、重任及び選任について
		理事長職務代理者 重任について
		学長選考会議委員、校長選考会議委員 重任について
		2023年度事業計画、当初予算について
2022年度		泉ヶ丘高等学校学則、高等学校学則、大学学則、大学院学則 一部変更について
第14回	令和5年3月9日	内部監査室の設置について
		「学校法人帝塚山学院 内部監査規程」の制定、 「学校法人帝塚山学院 監事監査規程」 「学校法人帝塚山学院 文書取扱規程」 「学校法人帝塚山学院 決裁権限規程」 「学校法人帝塚山学院 事務組織規程」の一部変更について 「学校法人帝塚山学院 情報公開規程」の一部変更について
		3月22日開催 評議員会、3月23日開催 理事会の議案について
		教職員人事関係
2022年度 第15回	令和5年3月16日	「学校法人帝塚山学院 公益通報者保護規程」 「学校法人帝塚山学院 子ども・子育て専任支援員等雇用規程」 「学校法人帝塚山学院 情報公開規程」の一部変更について

### Ⅱ 法人事業の概要

### 1 本学院の状況

わが国の教育を取り巻く環境は、めまぐるしいスピードで変化を遂げています。2022年の出生数は、国の予測より8年も早く80万人を下回り、2030年代には年少人口が現在の"倍速"で急減するとも言われております。教育業界に身を置く我々にとっては、「少子化」の波をすでに実感しているところですが、さらに厳しさが増す状況は、避けて通れません。また、AIの台頭をはじめとするICTの大変革にも迅速な対応が必要です。AIとどのように対峙し、駆使していくのか、いわゆる「人間力」が問われる時代に突入しております。広い視野を持ち、あらゆる情報の中から取捨選択し判断する力、様々な人たちと意見を交わし、自らの意志をもって発信、行動する力が、まさに今「生きる力」として求められていると言えるでしょう。

学校法人 帝塚山学院が掲げる建学の精神「力の教育」は、まさにこの「生きる力」を身に付けるための教育そのものです。「意志の力」「情の力」「知の力」そして「躯幹の力」を備えた人材を100年以上、私たちは社会に送り続けてまいりました。100年以上前に掲げた教育の真髄が、今そして未来に通じる精神であることは誇るべきことであると思っております。

2022年度は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が一度も発出されることなく、まさにウィズコロナ、ポストコロナにおける新たな教育を実践できた1年でした。本学院においても、ハイブリッドな学びを取り入れつつ、行事を再開しながら、学修の機会を確保してまいりました。そして、一歩前を目指す教育活動を教職員一丸となり、各設置校において続けてまいりました。2022年度の各設置校の取り組みは、下記の通りです。

幼稚園では、最大の特徴である「体験を通した学び」を多角的に実践しています。 外遊び、クッキング、絵本、英語、お絵かき、音楽など数々の体験を通して、子ども たちは自然と「生活する力」「人と関わる力」そして「学ぶ力」を身に付けています。 2022年度は、特に「SDGs」に重きを置きました。「SDGs」と聞くと難しく 捉えられがちですが、子どもたちが興味を持ちやすく身近な存在である動植物や天気 の話をきっかけにしたことで、"できることからやってみよう"という意識が芽生え ています。

小学校では、伝統行事の再開が大きな柱となりました。2020年度、2021年度は中止を余儀なくされた臨海学舎を再開しました。6年生は初めての臨海学舎を経験し、創立以来、脈々と続けてきた我が校の伝統を途絶えさせることなく、継承する

ことが出来ました。親元を離れ、友達と同じ時間、空間を共有し、目標に向かった数日間は、児童の「あきらめない」「くじけない」「努力を怠らない」心を作り、強靭な精神力の源になると信じています。今後も日常の学習、多彩な行事を通して「力の教育」を推進してまいります。

泉ヶ丘中学校高等学校では、5つの不動の教育目標「チャレンジすることに価値を 見出す」「失敗から立ち上がる逞しい精神を身に付ける」「チームワークに必要な協調 性、社会性、責任感を養う」「多様性を理解できるグローバルな視座を獲得する」「幅 広い知識や技術を身に付ける」を毎年遂行しております。この積み重ねが奏功し、2 023年春の卒業生については、国公立大学の現役合格者数が100名を突破しまし た。今後も、生徒一人ひとりが日々の授業を第一に、各々の目標に向かって、計画を 立て努力し続ける教育を大切にしてまいります。

中学校高等学校では、化学室と生物室とを一体化した新たなサイエンス・ラボ「AQRiO\*S」としてリニューアルを遂げました。実験と観察に留まらず、「研究」を可能にした最先端の設備と環境が整っており、高校レベルの学びを超えた応用科学が実践できると生徒たちから好評です。志願者、入学者ともに増えている中、充実した教育環境と学習内容を提供することで、生徒の多様なニーズに応えてまいりたいと考えております。すべての生徒が、帝塚山学院中学校高等学校だからこそ実現できる夢が無数に広がっていると実感できる教育を目指し続けます。

大学は、常にアップデートした環境で教育研究活動を実践できるよう、教職協働で取り組んでいるところです。その結果、年々、志願者及び入学者のレベルが上がりつつあります。学生を入学から卒業まできめ細かにサポートし、小粒でもきらりと光る大学としての存在感を高めてまいります。2024年4月には、リベラルアーツ学部、総合心理学部、食環境学部の3学部化を図るとともに、新コースの設置も計画しております。教員採用に力を入れるとともに、専門性に特化したカリキュラム等を整え、将来の選択肢が広がり続ける大学として飛躍してまいります。

このように、各設置校が理想の教育を追求し、体現している日常が多くの方に受け入れていただき、2023年度もすべての設置校で入学募集定員を充足することが出来ました。財政面におきましても、必要な投資は行いつつ、経費削減に努めた結果、2023年度予算につきましても黒字を確保する形で編成しております。

今後も、あらゆる教育に関する課題に対して真摯に向き合いながら、歴史に裏打ちされた「力の教育」を推進し、変化に強く、生きる力を身に付けた人を育て続けてまいります。

### Ⅲ 2022年度 帝塚山学院の事業報告の骨子

### 1. 2022年度事業報告(法人本部)

総務部	
実施目標・計画	具体的取組
(1)各校園へのサポート強化	各設置学校への入試関連業務、新型コロナウイルス感染
	防止対策、避難訓練立ち合い等業務応援
(2) 理事長及び学校園長のリーダーシップ	私立学校法改正に向けた寄附行為変更等の準備
によるガバナンス体制の強化	リスクマネジメント体制の確立
	新型コロナウイルス感染症対策
	公益通報者保護規程の改定と運用の円滑化
(3) 学内諸規程の見直し	学内諸規程の再確認(法改正等必要に応じて改定実施)
(4) 内部監査室の設置準備	設置主旨を説明の上、設置に伴う諸規程の制定及び一部
	変更を進め、2023年4月に設置完了
(5)募金施策による増収	「まつかさ応援募金」への協力促進
	「まつかさサポーターズ倶楽部」への協力要請
(6)教育後援会の運営	役員選考委員会、役員会、幹事会の円滑な実施
	教育後援会イベントの計画的遂行
(7) 就職支援会活動	学院関係先の企業への求人依頼

総務部、企画部共通	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 学院ブランドイメージの向上	法人本部ホームページの見直し 各部関連部署とのコンセンサス形成・連携強化 各設置校のホームページの充実及び新規ユーザー数獲 得に向けた広報活動の展開

企画部	
実施目標・計画	具体的取組
(1)募集定員の確保	募集定員を超える入学者確保

財務部	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 月次決算制度と収支予測制度の導入	各設置校及び全体の事業収支と業務予算進捗を月次単
	位で実施(上半期)
	収支予測を実施し、22 年度決算と 23 年度予算の戦略を
	検討(下半期)
	月次決算と収支予測を用い、各事務局で検討会を行い、
	計画的で適切な事業を推進する体制を構築
(2)業務効率の改善	決算・予算にかかる業務時間の短縮、早期報告
(3) 管財業務の強化	4年ごとの特殊建築物調査、毎年の防災調査等の実施
	問題個所を各設置校と共有し、改善に向けたアクショ
	ンを推進
(4)総合ファイルサーバ運用拡充	大学事務ファイルサーバの統合完了
	法人及び泉ヶ丘校管理教職員とのファイル共有体制を
	確立
(5) 電子ワークフローの導入	経費精算ワークフローの導入検討開始に向け、現状の業
	務分析を実施

### 1. 2022年度事業報告(法人本部)

人事部	
実施目標・計画	具体的取組
(1)教育の質向上への優秀な人材の採用	小学校管理職との「教員採用プロジェクト」を立上げ 専門性の高い人材の採用 事務職員採用時におけるの人事制度見直し
(2) 教職員の研修制度の確立	新規採用教職員への研修の定着 外部研修の拡大実施
(3)組織の計画的・効率的配置、編成	大学ワンキャンパス化に伴う人員配置の見直し 各設置校とのワーキンググループ継続的開催 長時間勤務者との面談実施及び業務の見直し
(4) 人事制度の見直し	同一労働同一賃金への対応
(5) 定年延長を見据えた給与制度、退職金 制度の見直し	改正高年齢者雇用安定法への対応を検討
(6)各設置校へのサポートを強化	人事異動による各事務局の活性化 健康相談窓口の外部への設置
(7)人事制度の見直し	事務職員の人事評価制度導入、給与・賞与への反映 管理職に対する評価者研修の実施 高以下教員の人事制度見直しに向けた制度案の作成
(8)業務の効率化	人事データベース構築に向けた検討 雇用契約書のシステム導入準備 年末調整業務WEB化の実施

### 2. 2022年度事業報告(幼稚園)

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育の質の保証	就学までに育てたい「10の姿」と関連付けた体験型プ
	ロジェクト保育の実施
	年長児への i P a d を利用した調べ学習の充実
	「調理の楽しさを知る」をテーマにした食育活動の実施
	気象予報士等の話を通してのSDG s への理解推進
	絵本の読み聞かせ年間「150冊」実施、音読活動等に
	よる表現力・語彙力の向上
	災害時の単独避難行動、避難防災訓練等の実施等 安全
	教育の継続
	朝又は昼10分間の縄跳び実施等、運動能力・体力向上
	挨拶、お礼、敬語、お箸検定等マナー教育の充実
(2)指導力向上	教員研修・園内研修の実施
	脳科学プログラムの保育活動内での活用
	安全教育・救命技能の向上
	人事考課制度、評価の実施 担任ローテーションの実施のための人材育成と確保
	担任ローケーションの美地のための人材育成と確保     目標明確化と共有による保育マネジメントの充実
(3)保育環境の充実	老朽化した保育施設の改修
(2) Millianon Sand	園庭の改修工事実施
(4) 進路指導の充実	年中児から進路相談の実施、内部進学率の維持
(5) 幼小連携の充実	幼小担任懇談会の実施等 幼小接続の確立

### 2. 2022年度事業報告(幼稚園)

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 募集活動の意識共有	広報の方法や具体的な募集活動の提案、協力、助言
(2)補助金獲得の提案	補助金獲得のための情報収集と提案
(3) 幼稚園運営の援助協力	他法人の学校運営の具体例の調査提示・提案
(4)事務処理の IT 化	インターネット出願の実施
(5) 教員採用・人材確保の確立	教員養成校への訪問
(6) 契約職員、アルバイトの有期雇用廃止	幼稚園特有の働き方ができる人材を確保し、継続して勤 務できる方法を構築

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 安定的財政基盤の確立	保育の質保証を担保し、定員を確保 保育料値上げを実施 特別協力金納付への協力依頼 具体的施策提示による寄付金募集(多数の御協力あり)

### 3. 2022年度事業報告(小学校)

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1)教員の質の向上	教科指導力の向上のための取り組み 協働学習を定期的に行うための研修と体制づくり TT授業の研究と実践 シラバス作成に向けての計画と教材開発 教科部会の活性化、学力情報の分析と共有 併設中学校の入試問題の分析と共有
	進路指導授業の計画と実施 学級経営力向上のための研修充実とフォロー体制構築 人材の確保と適材適所配当
(2)学力(認知能力)を育成する教育	学力向上に向けた取り組みの継続と強化 放課後補習、少人数習熟度別授業、長期休暇講習会等 漢字学習方法の精査 「進路ファイル」及び基礎学力表の周知、懇談での活用 法の伝授 TASCの充実
(3) 非認知能力を育む教育の徹底	生活指導の強化と徹底 「人間力」「生活力」「協調性」を高める指導強化 しつけ三原則の徹底(挨拶・返事・くつ) 電車マナーの強化(安心安全教室実施) いじめ防止対策の強化、支援児童の情報共有 QU結果の分析と共有、PTAとの連携強化 学校行事の意義の向上 給食の在り方と食育(満足度の高い給食) 「道徳」科目の確立

### 3. 2022年度事業報告(小学校)

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(4)未来につなぐ力の育成	進路指導の取組強化と周知 外部模試結果の分析と情報共有、進路ガイダンスの内 容充実等 キャリア教育の充実 ICT教育の充実 英語教育の充実、TSSとの連携等

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1)組織改革の計画的実施	学校運営方針の定期的な共有
	管理職や主任業務の教員への周知、主任会議の継続 校長と教員との面談実施
	指導記録、支援児童の情報共有等 児童に対する教員連
	携強化
(2) 教職員の勤務環境の整備	業務軽減
	教室等の改修、整備の計画的実施
(3) 各部署との連携の強化	帝塚山学院幼稚園との教育連携のための情報交換
	両中学校高等学校との進路情報等共有、保護者への伝達
	帝塚山学院大学からの教育実習生受け入れ
	本部事務局との補助金等の外部資金獲得等の情報共有
	アドミッションセンターとの情報共有徹底、円滑なコミ
	ュニケーション、業務分担の精査と協力、入試イベント
	の実施応援等連携
	保護者等個人懇談充実、PTA集会等での連携強化

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 児童定員の確保	教育内容の充実等 積極的な広報活動の実施 イベント参加者、受験者、入学者の数値目標提示と達成
(2) 適正な児童定員数と、学校授業料の計 画的検討	文部科学省方針に則った、児童定員数変更計画の段階的実施
(3) 外部資金の獲得	教室改装をはじめとした補助金申請の取組強化

### 4. 2022年度事業報告(泉ヶ丘中学校高等学校)

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 進路指導の充実	模試分析会による課題抽出 高3生 進路検討会の充実 難関大学、国公立医学部合格プロジェクトの実施 近隣国公立大学合格プロジェクトの実施 進路の手引きの作成と活用 保護者向け、生徒向け進路説明会の充実 進路通信の発行

### 4. 2022年度事業報告(泉ヶ丘中学校高等学校)

1. エンロールメント・マネジメントの強化	
実施目標・計画	具体的取組
(2) 国際教育の推進	ネイティブ教員の戦力化等 マネジメント強化
	四技能に関する英語授業力の向上
	英語資格検定合格実績、国際英語コース進学実績の向上
	海外留学制度の拡充と実績向上
(3) 入試対策の強化	パンフレット、ポスター、HP等 広報物の一新
	入学後成績分析と学年連携
	特待生ケア
(4) 生徒指導の強化	指導案件の早期発見と対応
	いじめ、SNS等研修会の実施
	生徒会との連動(全校集会、挨拶運動、校則一部改定)
	人権教育の推進
	生徒指導だよりの発行
(5)保健部体制の強化	迅速かつ的確なコロナ対応 (検温体制と啓蒙活動)
	保健室、アシストルーム、カウンセリングの充実等メン
	タルケアの充実
	防災訓練の実施
(6) 行事の充実	体育大会の実施
	クロスカントリーの実施再開検討
	芸術鑑賞会、ココロの学校の開催(西川 悟平 氏)
	泉ヶ丘通信の発行 クラブ活動の充実
	式典の統括(生徒会との連携)
(7) 生徒会活動の推進	学級委員による式典(始・終業式)の一部運営
	研修旅行等宿泊行事での生徒主体による一部活動
	文化祭(泉ヶ丘祭)、生徒集会の運営
	校内倫理啓蒙活動、ボランティア活動
( o )	キャリア教育
(8) 教務部門の充実	保護者授業参観(アンケート内容の活用) 教員授業見学の実施
	教員投来兄子の美胞 新カリキュラムへの対応
	(ICT活用、反転学習、情報科共通テスト導入対応)
(9)組織的活動の徹底	管理職会議、運営会議等 組織ごとの会議運営と全体方
	針の徹底

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 有益な勤務時間管理	教員勤務時間管理の過去3年間の総括 外部クラブコーチの招聘
(2)教育施設の有効活用	校内施設の営繕、改修 (PCL教室の全面改修、中庭の整備、防犯カメラ増設、 生徒ホール天井鉄骨の塗装) 中庭・校舎西側(現駐車場)の活用 保護者自家用車送迎禁止に向けての対応 生徒の地域清掃活動、地域自治会行事参加等 地域連携
(3) PTA、同窓会との連携	更なる連携強化
(4)有効な教員採用	受験指導スペシャリストの一部採用
(5) コロナ対応	迅速かつ的確な判断と校内安全衛生環境整備

### 4. 2022年度事業報告(泉ヶ丘中学校高等学校)

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 入学定員の確保	定員確保に向けた取り組み
(中学 160 名、高校 3 年コース 140 名)	(広報刷新、入試イベント実施等)
(2)補助金の獲得	経常費補助金をはじめ、いじめ防止対策、
	PCL改装等に対し支給される補助金の獲得
(3) 支出の見直し	管理職の兼任、削減等による人件費の削減

### 5. 2022年度事業報告(中学校高等学校)

1. エンロールメント・マネジメントの強化	比
実施目標・計画	具体的取組
(1) 生徒指導力の強化	創究講座の講座数確保とともに卒業リポートの指導を通 じて大学入試で必要となる思考力を養成
	エンロールメント・マネジメントによる募集と進路のリンク
	社会につながるトランジション教育の実施
	大学入試改革への対応
	自己推薦型入試での小論文や面接に対応するための 個別指導充実
	基本的な生活習慣の確立
	保健室や保健支援委員会と協力し、コロナから平常 時移行に伴う生徒たちの心身の状況把握に尽力
(2) 教科指導力の向上	ラーニングコモンズ第二期工事として施設面での理科教
	育を充実
	化学室・生物室を一体化し、最新の実験機器を備え
	たサイエンスラボへと改装。また、各大学から講師を 招いての授業を実施
	ICT環境の整備
	貸与PCの台数維持
	教員研修の実施
	新学習指導要領・大学入試共通テストの研究
	優秀な人材の採用
	共通テスト「情報」への対策可能な教員を確保 リモート教育の活用
	オンラインの指導スキル維持
(3) 生徒の学力向上	エトワール上位層の模試成績の維持・向上
	プルミエ生の現役大学合格率の維持・向上
	関学コース生の英検取得率の維持・向上

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教職協働の促進	教職・事務職(特に教頭・事務長)の連携強化 教室改装や教員採用等をスムースに実施 アドミッションセンターの改装
(2) ガバナンスの強化	業務内容の整理、管理職の業務内容精査 ワーキンググループ活用による長時間労働教員数及び 全体労働時間の把握と一部教員の労働軽減実施

### 5. 2022年度事業報告(中学校高等学校)

2. 教職協働の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(3) 教育環境の整備	クラス数増に伴う普通教室と特別教室の確保 新指導要領の導入に伴うカリキュラム変更に対応した 適正な教員数の確保

3. 財務力の強化	
実施目標・計画	具体的取組
(1)入試募集の強化	アフターコロナの市場変化に対応した入試行事実施回数 と時期精査による安定的入試募集実現と予算基盤強化 市場の変化に応じた柔軟な入試方式の模索 データ分析力の強化
(2)外部資金の獲得	大阪府や文部科学省等の競争的補助金の獲得 「理科教育設備整備費等補助金」の獲得に向けた準備

1. エンロールメント・マネジメントの強化	<u> </u>
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育課程の質の保証	【基盤教育機構・リベラルアーツ学科・心理学科】 新専攻設置等へのカリキュラム改定、教員配置を完了 【心理学科・食物栄養学科】 2024 年度総合心理学部・食環境学部設置に向けたカリ キュラム編成を完了
	基礎学力の強化と検証 【基盤教育機構】 成績状況等の経年推移検証 【リベラルアーツ学科】 学修状況を個別に調査し、指導方針を策定・実行 【心理学科】 一部科目に SA を配置し、授業でのサポート実施 キャリアセンターとの情報交換会実施、問題点を共有 【食物栄養学科】 学生の自己評価結果と教員の学生評価結果を解析
	学修成果の点検・評価 【基盤教育機構】 授業アンケートでの状況分析 カリキュラムに関するFD 研修会を実施(10 のちからを 伸張させる工夫などを共有) 学修上の困難を抱える学生について学科との情報共 有、連携 【リベラルアーツ学科】 学修状況を個別に調査し、指導方針を策定・実行 【心理学科】 テヅカポートフォリオを活用しての学修指導実施 【食物栄養学科】 学科専門科目における専門基礎分野と応用分野におけ る伸展・関連づけに関する調査実施と結果分析

1. エンロールメント・マネジメン	トの強化
実施目標・計画	具体的取組
(1) 教育課程の質の保証	退学者率改善に向けての対応
	教育改善への継続的取り組み
	【基盤教育機構】 カレッジコミュニティ、読書演習の拡充実施
	「10 のちから」及び「知的好奇心の活性化」の観点か
	ら、各授業の授業手法等の改善実施
	【心理学科】
	抽選科目の運用改善・入学者の増加に伴うクラス増設等
	養護教諭採用試験合格者数増に向けての学内受験指導 大学院入試対策講座の対象学年引き下げ
	志望進路把握とそれに応じた各講座への参加促進強化
	大手企業との産学連携活動の実現
	大学・保護者・学生との連携強化
	【食物栄養学科】
	父母等との懇談会の実施(対面、Zoom 併用) 卒業生講話の実施
	学生の能力に応じた入学前教育の実施
	子生の能力に応じた八子前教育の美地
(2) 学修支援の充実	多様な授業形態の推進
	オンデマンド授業遵守事項の改定及び教育効果の検証 授業に関する FD 研修会及び学生 FD の推進
	学生・教員向けICT環境のより一層の充実
	学生の自主学習や教員とのコミュニケーション推進
	テヅカポートフォリオ活用と FD 研修会の実施
	IR を活用した教学マネジメントの実行
(3) キャリア支援	内定率 100%の達成に向けての低学年からの就職支援、絹
	密な事前準備による効率的な面談指導の実現
	マナーの帝塚山学院(秘書検定取得指導の強化)
	企業訪問等で優良企業との関係性強化
(4) 学生を大切にする大学づくり	多様な学生活動等の活性化
(入学前から卒業までをサポー	ト) 学内イベント、強化クラブ活動支援等
	学生指導及び学生生活支援
	欠席率悪化の学生への早期アプローチとサポート対応
	父母等との懇談会等での連携強化
	入学前から在学・卒業に至るまでの支援強化
	経済的支援
	各種奨学金等 適切な情報提供

1. エンロールメント・マネジメントの強	化
実施目標・計画	具体的取組
(5) 学修環境の整備	食堂の改善、図書館の改善 電子マネー等キャッシュレス化への推進 電子ブック導入及び拡大 IT活用環境の改善 IT周辺環境の整備、セキュリティ対策の実施 等 企業とのコラボ活動 インターシップ及びコラボ取り組みの仕組み構築
(6) 地域社会への貢献	地域連携事業の強化 堺市・大阪狭山市等外部機関との連携協力の推進

実施目標・計画	具体的取組
(1) 教学マネジメントの機能性	学長会議、執行部の意思決定プロセスの明確化
	学長会議を中心とした学内各組織における権限と責任の 明確化
	中期計画をもとにした各年度目標の検証、全教職員の意意 共有、学長による全学教職員への施政方針共有
(2) 教員の配置・職能開発、職員の研	修   教員評価実施
	教育効果、学生サービスの向上のための教育デジタル化力 進等のFD研修実施(計19回実施)
	教員相互での授業参観の実施継続
	学生サービス、学生満足度向上へのSD研修実施
(3) 内部質保証の実施	内部質保証システムの実質化 自己点検・評価の結果を踏まえた改善活動の実行 教学 I Rにおける分析機能の強化
	アセスメント・ポリシーによる学内取組の体系化と継続な運用 アセスメント活動の計画的実施
	IR機能を活用したアセスメント支援の強化

3. 財務力の強化	目什的职犯
実施目標・計画	具体的取組
(1)入学定員の充足	入学者数の確保
	入学者選抜方法の検証と改善
	偏差値向上、競争率の維持に向けた活動
	広報関係各媒体等における効果検証
	大学公式サイトのフルリニューアル
	2024 年度入学試験要項の早期告知実施
	オープンキャンパス動員数の目標達成
	入試直前での大学見学会・入試個別相談会等実施
	高校訪問・校内ガイダンスの体制強化
	2024 年度学部再編に伴う広報強化
(2) 外部資金の獲得	教育改革等の取組みによる補助金の獲得
	私立大学改革総合支援事業のタイプ1選定
	「教育の質に係る客観的指標」による経常費補助金の増
	額達成
	「情報の公表に係る調査票」全項目達成
(3) 人件費の抑制	教職員の人員削減等スリム化
(4) 物件費の削減	予算管理の徹底と予実管理の効率運営
	決裁権限規程の改定に伴う運用の実施
	支払業務に関する各組織間連携の見直し
	法人カード導入
	アウトソーシングトライアルの実施
	施設管財の管理の計画的な実施
	委託業務の見直しと効率的な委託業者の活用

## 7. 2022年度学生異動及び卒業生の進路

帝塚山学院幼稚園 入試・在園・退園・進学状況

【入試状況	元】										
	年	:少(3年保育	( )	古年中日	定員充足率	年中	1(2年保育)		年長	(1年保	育)
	志願者数	合格者数	入学者数	₩ ₩	%	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
2021年度	[1] [1]	[9] 85	23 <b>[</b> 6]	48	110.4	2 [2]	2 [2]	2 [2]	0	0	0
2022年度	53 [4]	52 [4]	48 [4]	48	100.0	3 [2]	3 [2]	3 [2]	3 [1]	3 [1]	3 [1]
2023年度	56 [3]	54 [1]	51 [1]	48	106.3	4	2	2	0	0	0
		(±11 12 1 2	3月入試者数	内数。							

	ŲΠ	用	22	22	53
		井	26	54	26
	年長	女	40	35	33
		男	16	19	23
		##	51	26	49
	年中	女	32	33	35
		男	19	23	14
		井	23	48	51
	年少	女	33	33	35
		男	20	15	16
【在園状況】			2021年度	2022年度	2023年度

105 103

		計	20	0	3	1	54
	人数	女子	31	0	8	1	32
		男子	19	0	0	0	19
: 0 2 2 年度卒園生	集	,	帝塚山学院			海外移住	総
【進学状況】2			私立小学校	国立小学校	公立小学校	その他	

2.)	人数	3	1	3
【退園状汤		2020年度	2021年度	2022年度

【入試状況】	1									
			新 -	1年						
	志願者		合	格者		,	入学者		募集定員	定員充足率
	内部 外部	計	内部外	部	計	内部	外部	計		%
2021年度	37 109	146	37	101	138	34	80	114	114	100.0
2022年度	41 112	153	41	103	144	41	82	123	114	107.9
2023年度	49 119	168	49	82	131	49	53	102	102	100.0

【仕精状沈】																					
		1年			2年			3年			4年			5年			6年		ⅆ	祌	
	用	女	丰	用	女	井	用	女	丰	用	女	丰	用	女	計	用	女	丰	用	女	丰
2021年度	40	74	114	31	83	114	35	9/	111	42	99	108	28	80	108	43	71	114	219	450	699
2022年度	41	82	123	40	74	114		83	114	35	78	113	42	89	110	27	80	107	216	465	681
2023年度	35	99	101	40	81	121	40	74	114	31	83	114	36	16	112	39	68	107	221	448	699

	人数	10	3	8
【転学状況】		2020年度	2021年度	2022年度

	χ	丰	40	2	45	-	·	4	က	က	2	7	7	-	•
	数	女子	40	4	44						2	7	7	-	
	$\prec$	男子	0	-	1	1	-	4	လ	3					-
【進学状況】2022年度卒業生	1	ተ አ	帝塚山学院	帝塚山学院泉ヶ丘	学院小計	東大寺学園	攤	清風	明星	車	<b>必</b>	四天王寺	大谷	履正社	田十十 出
【進学状況】20	#	世	私立中学校			私立中学校									

奈良女子大付属 公立中学校・その他学校合計

その他学校・留学 立中学

米

仆

浬

27	
抛	
፠	

私立中学校	東大寺学園	_		_
	業	l		1
	清風	4		4
	明星	3		3
	車	3		3
	浴南		2	2
	四天王寺		7	7
	大谷		7	7
	履正社		_	_
	西大和学園	_		-
	清風南海	ε	2	2
	帝塚山学園		3	3
	立命館宇治		-	_
	同志社香里	2	2	4
	追手門学院		-	_
	開明		2	2
	育英西		_	1
	大阪女学院		1	1
	清教学園	_		-
	浪速	2		2
	追手門大手前	ļ	_	2
	芦谷学園		-	-
	近畿大学附属	7	2	4
	広尾学園	l		1
72.00				
学院外	당사 私学小計	25	34	59

帝塚山学院泉ヶ丘中学校 入試・在籍・退学・進学状況

1) 入試状況

定員充足率 119.3% 123.6% 108.6% 入学定員 140 140 140 入学者 167 173 152 新一年 合格者 641 584 552 志願者 942 853 852 2021年度 2022年度 2023年度

転学者数

3

151 1. 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 4. 海外留学 3. 中学浪人 2. その色 4) 進学先

4 私立高

2) 在籍者数

2名 2名 1名 2021年度 2022年度 2020年度

> 180 297

63 104 167

眠 女計

2021年度

盂

3年

2年

4

477 188 307 495 186 304 490

154 59 96 155

156

96

103 167

108

2022年度

173

計馬

64

65

眠 Ħ 102 166

107 172

152

女計

2023年度

65

57 95

1) 入試状況

				NIK	新1年	年					
		志願者			合格者			入学者		入学定員	定員充足率
	内部	外部	丰	内部	外部	井	内部	外部	計		
2021年度	162	453	615	162	451	613	162	172	334	280	119.3%
2022年度	151	455	909	151	453	604	151	159	310	280	110.7%
2023年度	151	513	664	151	207	658	151	168	319	280	113.9%

### 3) 転退学者数

2) 在籍者数

	人数	10名	21名	15名
		2020年度	2021年度	2022年度
ļ				

		1年	2年	3年	抽
	用	161	126	110	397
2021年度	女	173	162	171	506
	計	334	288	281	903
	虽	129	158	122	409
2022年度	女	181	167	154	502
	計	310	325	276	911
	畄	140	129	153	422
2023年度	女	179	177	164	520
	냳	319	908	317	942

	国立大学	現役生	既卒生	総計
京都		3	1	4
大阪		9	2	11
神戸		2	2	4
北海道		1		1
九州		1		1
大阪教育		7		7
和歌山		20	3	23
奈良教育		1		1
横浜国立		1		1
京都工芸	繊維	1	1	2
広島	11-2411-	1		1
三重		2		2
<u>——</u> 信州		1		1
静岡			1	1
鳥取		2	2	4
島根		<u> </u>	1	1
徳島		2	1	3
富山		1		1
鹿児島		1		1
北見工業		3		3
山形			1	1
高知		1		1
愛媛			1	1
		1		
愛媛	公立大学	1 現役生	<u>1</u> 既卒生	1
愛媛	公立大学	_		1 1
愛媛 琉球		現役生	既卒生	1 1 総計
愛媛 琉球 大阪公立 和歌山県 神戸市外	立医科	現役生 18	既卒生	1 1 総計 20
愛媛 琉球 大阪公立 和歌山県 神戸市外 岡山県立	立医科国語	現役生 18 3	既卒生	1 総計 20 3 1 5
愛媛 琉球 大阪公立 和歌山県 神戸市外	立医科国語	現役生 18 3 1	<b>既卒生</b> 2	1 総計 20 3 1 5
愛媛 琉球 大阪公山県 神戸山県市外 同の都文化 芸術文化	立医科国語	現役生 18 3 1 4 1	<b>既卒生</b> 2	1 総計 20 3 1 5 1
愛媛 琉球 大阪公山市 神戸県市立 京都文県 芸術文県 高知東立	立医科 国語 芸術	現役生 18 3 1 4 1	<b>既卒生</b> 2	1 総計 20 3 1 5 1 1 2
愛媛 琉球 大和歌戸山都 京山市県市文県 高知工 高知工	立医科 国語 芸術	現役生 18 3 1 4 1	<b>既卒生</b> 2	1 総計 20 3 1 5 1 1 2
愛媛 琉球 大阪歌戸県 一大和野川 一大和野川 一大和野川 工作 一大	立医科 国語 芸術	現役生 18 3 1 4 1 1 2	<b>既卒生</b> 2	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1
愛城 大和東西 京 大和東西 京 大和東 一山都 一山 一本 一山 一本 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	立医科 国語 芸術 観光専門職大学	現役生 18 3 1 4 1 1 2 1	<b>既卒生</b> 2	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 2
爱娥 大和神岡京術知知条賀 高高三 ※類潟 一 大和神岡京術知知条賀 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	立医科 国語 芸術 観光専門職大学	現役生 18 3 1 4 1 1 2 1	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 2
愛城 大和神岡京芸高高三遊新都都 立県外立立化立科立立公科	立医科 国語 芸術 観光専門職大学	現役生 18 3 1 4 1 2 1 1 1	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 2
愛城 大和神岡京芸高高三滋新都奈 一 立県外立立化立科立立科立立科立	立医科 国語 芸術 観光専門職大学 大学	現役生 18 3 1 4 1 1 2 1 1 1 1 1 1 3	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 3
<ul><li>愛城</li><li>大和神岡京芸高高三遊新都奈富</li><li>立県外立立化立科立立立科立</li><li>立県外立立化立科立立立科立立</li></ul>	立医科 国語 芸術 観光専門職大学 大学	現役生 18 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 2 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
愛琉 大和神岡京芸高高三滋新都奈富福 公山市県市文県工市県県文県県県県県県県県東東県・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・	立医科 国語 芸術 観光専門職大学 大学	現役生 18 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 2 1 1 3 1
愛琉 大和神岡京芸高高三滋新都奈富福福福 公山市県市文県工市県県文県県県山井知・大田県外立立との東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の	立医科 国語 芸術 観光専門職大学 大学	現役生 18 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
愛琉 大和神岡京芸高高三滋新都奈富福福兵 公山市県市文県工市県県文県県県山県山県山県山県東東県山県山県東東県山県地域の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の	立医科国語 芸術 観光専門職大学 大学	現役生 18 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 5	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 7
愛琉 大和神岡京芸高高三滋新都奈富福 [ 兵名 ] 公山市県市文県工市県県文県県県山県屋 古県外立立化立科立立立科立立公立市	立医科国語 芸術 観光専門職大学 大学 立立	現役生 18 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
愛琉 大和神岡京芸高高三滋新都奈富福福兵 公山市県市文県工市県県文県県県山県山県山県山県東東県山県山県東東県山県地域の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の	立医科国語 芸術 観光専門職大学 大学 立 立	現役生 18 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 5	既卒生 2 1	1 総計 20 3 1 5 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 7

私立大学	現役生	既卒生	総計
早稲田	1	1	2
慶応義塾	2		2
上智	1		1
明治	2		2
東京理科	6	1	7
同志社	41	10	51
立命館	31	17	48
関西学院	67	9	76
<b>関西</b>	70	8	78
近畿	142	23	165

### 医学部医学科

大学	現役生	既卒生	総計
和歌山県立医科	1		1
近畿	2		2
関西医科	3		3
大阪医科薬科	1		1
岩手医科		1	1
愛知医科		1	1
川崎医科		2	2
総計	7	4	11

### 歯学部

大学	現役生	既卒生	総計
大阪歯科	3	1	4
朝日	3		3
愛知学院	1	2	3
岩手医科	2		2
総計	9	3	12

### 獣医学部

大学	現役生	既卒生	総計
岡山理科	1		1
北里	1		1
麻布	1		1
総計	3		3

### 薬学部

大学	現役生	既卒生	総計
名古屋市立	1		1
和歌山県立医科	1		1
立命館	4		4
京都薬科	3		3
近畿	16	1	17
大阪医科薬科	5	1	6
神戸薬科	5		5
摂南	5		5
兵庫医科	1		1
同志社女子	1		1
武庫川女子	4		4
神戸学院	1		1
大阪大谷	2		2
総計	49	2	51

# 帝塚山学院中学校 入試・在籍・退学・進学状況

	<b>新1年</b>	Sh S	外部   計   内部   計	999 1039 40 239 279 180   155.0	1100 1136 36 233 269 180 149.4	933 971 38 226 264 180 146.7
			丰			
		仆	外部	239	233	226
			内部	40	36	38
			丰	1039	1136	971
	新1年	合格者	外部	666	1100	933
	**	ŲП	内部	40	36	38
			丰	1343	1469	1279
		志願者	外部	1303	1433	1241
[]			内部	40	36	38
【入試状況				2021年度	2022年度	2023年度

【在籍状况】	元】			
	1年	2年	3年	수 計
	女子	女子	女子	女子
2021年度	279	257	270	908
2022年度	269	275	255	799
2023年度	264	268	268	800

#4	人数	女子	236	15		-	1	254
【進学状況】2022年度卒業生	北	ት	帝塚山学院高等学校	その他私立高等学校	公立高等学校	型	その他	総計

【進字状況】	A1	<b>π</b>	帝塚山学院高	その他私立高	
	人数	6	2	6	
【転字状法		2020年度	2021年度	2022年度	

### 入試・在籍・退学・進学状況 帝塚山学院高等学校

		定員充足率	%	111.7	107.7	108.0	
		募集定員		230	260	250	
			計	257	280	270	
		入学者	外部	32	34	34	
			内部	522	246	236	
			計	276	300	292	
	新1年	合格者	外部	12	53	26	
	)	∳□	内部	222	247	236	
			丰	276	300	292	
		志願者	志願者	外部	19	23	26
			内部	225	247	236	
【入試状況】				2021年度	2022年度	2023年度	

【在籍状況】				
	1年	2年	3年	合計
	女子	女子	カ チ	女 子
2021年度	257	223	255	735
2022年度	283 [1]	248	220	751
2023年度	271 [1]	277	244	792
	【 】 は留年者数、内数。			

教

	人	10	8	c
【転退学状況】		2020年度	2021年度	中十,0000

291 小計 6 合 留 進学準備 専門学校 その他 短大等 123 309 合格実績 26 33 283 15 121 10 京都市立芸術 近畿(医学部医学科) その他4年制大学 洗足学園音楽 大阪医科薬科 【進学状況】2022年度卒業生 神戸学院 追手門学院 帝塚山学院 神戸女学院 同志社女子 武庫川女子 関西外国語 兵庫県立 秋田県立 大阪教育 京都女子 大阪歯科 大阪芸術 奈良女子 関西学院 京都産業 神戸薬科 関西医療 神戸女子 共立女子 京都精華 多摩美術 大阪音楽 同志社 **立** 帝館 近 甲 車 大档 翼西 龍谷 摂南

帝塚山学院大学 入試·在籍·退学·進路状況

【入試状況報告】

			113 15		<del>                                     </del>	<u> </u>	32222 32222		7 <u>84</u> 0 7 <u>84</u> 1	
			募集定員比增減	12.		募集定員比增減	募集定員比增減 	<b>鄭集定員比值</b>	募集定員比增減 /	
	全体	370 1500 995 410 110.8%	120 120	120		2000 2000 2000 2000 2000 2000	120 120 120 120 120		370 370 370 1480	
	食物健康	40 131 103 32 80.0%	募集定員	募集定員		募集定員	募集定員	募集 未 上 員	募集定員	
2023年度	食	80 216 179 80 100.0%								
	心理	130 545 441 136 104.6%	18 \(\rangle\) 13	13	0 0 0	前年度比增	前年度比增	前年度 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	△ 4 △ 24 △ 50 △ 50 △ 41	
	リベラルアー	120 7 608 5 272 4 162 % 135.0%	リベラル アーツ学部 前年度比増減	学科増減		黛	鬞	英語学科 比增減	前年度比增減	
	全体	370 1767 1036 414 111.9%		情報メディア		心理学科	食物栄養学科	4417		
	食物健康	40 169 129 27 67.5%	162 133 1355	183 613 613 613 0	00000	136 152 143 143 579	112 105 98 132 447	144	390 390 381 474 474	40.4
2022年度	食物管理	284 228 228 84 105.0%	2023年 女 1	144 495 2023年度 女	700	2023年度 女 96 115 99 99 409	2023年度 女 93 92 83 116 384	2023年度 女 4 4	2023年度 <u>女</u> 326 318 285 285 365 1294	2022 <sup>±</sup> 65 24 89
	心理	130 675 379 159 122.3%	第 25 25 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32	118	99	男 40 44 44 170	男 19 15 16 16 16 16 16 17	男 4	第 84 72 72 96 109 361	年度 3.007 3.
	リベラ	120 639 300 144 120.0%	144 146 171	——————————————————————————————————————	76	159 161 132 119 571	111 107 128 130 476	#III	414 414 414 431 515	2021 <sup>3</sup> 47 26 73
	全体	370 2140 1062 422 114.1%	2022年度 女 121 107 133	108 469 2022年度 女	30	2022年度 女 121 110 92 62 385	2022年度 女 97 88 111 107 403	2022年度 女 女 25	2022年度 女 339 305 305 330 330 330 1312	· 年度
	食物健康	401 180 142 34 34 85.0%	周 23 39 38		46	男 38 51 57 57 186	第 14 19 17 23 73	男 26 26	期 109 95 183 462	2020年月 61 33 34 94
2021年度	食 管 埋	80 282 221 74 92.5%	日現在) ルアーツ学科 計 146 132	dia.	70 70 44 114	168 139 116 123 123	108 119 109 109 466	学科 <u>計</u> 0 0 4 4 4 6 9 1	422 453 483 407 1765	
	小理	130 840 378 168 129.2%	在学者数(2023年5月1日現在) リペラルアーツ学部リペラルアーツ 2021年度 男 38 108 1 141 143 1	<u>青報メラ</u> 2021: 女	30 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	人間科字部心理字科 第 53 115 42 97 51 59 51 46 77 198 348	人間科学部食物栄養学科 男 女 女 19 女 11 19 11 18 101 18 101 11 3954	個科学部キャリア英語学科   第	2021年度 女 312 351 322 222 253	異 <u>動理由</u> 一身上の都合 進路変更 計
	リベラルアーッ	120 838 321 146 121.7%	e状況】 在学者数 (2 リベラルアー 男 11 11 11 11 11 11 11 11 11	37 140 人間科学部 男	40 34 74 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	A 向科字部小 男 53 42 57 57 67 198	人間科学部 男 19 18 18 15 15	人間科学部 男 22 22 24 44	大学全体 期 110 102 161 154 154	退学者数
		募集定員 受験者 內格者者 に自充で 京日率	[大学 在籍者・退学状況] <u>在</u> リスペー							

	帝塚山学院大学													
		リベラルアーツ学部	人間科学部											
業種	大学計	リベラルアーツ学科(L)	情報メディア学科(C)	心理学科(H)	食物栄養学科 管理栄養士課程 (N)	食物栄養学科 健康実践栄養士課程 (NP)	キャリア英語学科(S)	学部計						
		人数	人数	人数	人数	人数	人数							
1 農業、林業、漁業	1	1	0	0	0	0	0	0						
2 建設業	9	1	2	5	1	0	0	8						
3 砿業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0						
4 製造業	30	6	4	6	3	11	0	24						
5 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0						
6 情報通信業	14	2	9	2	0	1	0	12						
7 運輸業、郵便業	8	4	0	2	0	0	2	4						
8 卸売業	23	3	5	5	2	2	6	20						
9 小売業	51	19	4	15	9	3	1	32						
10 金融·保険業	5	2	0	1	0	1	1	3						
11 不動産·物品賃貸業	5	1	1	2	0	0	1	4						
12 学術研究、専門・技術サービス業	9	1	6	0	1	0	1	8						
13 宿泊業・飲食サービス業(除給食業)	19	7	1	3	4	1	3	12						
14 給食業	32	0	0	0	24	8	0	32						
15 生活関連サービス・娯楽業	17	6	5	3	2	1	0	11						
16 教育、学習支援業	13	4	1	4	1	0	3	9						
17 医療·福祉業	54	10	3	14	22	2	3	44						
18 複合サービス事業	4	2	1	0	1	0	0	2						
19 その他サービス業	37	12	9	4	0	2	10	25						
20 公務	8	3	1	2	1	0	1	5						
21 分類不能	1	0	1	0	0	0	0	1						
99 【進学】	18	2	0	13	0	0	3	16						
卒業者数	422	115	61	91	76	39	40	307						
就職希望者数	353	91	54	70	71	33	34	262						
進学希望者数	18	2	0	13	0	0	3	16						
進学決定者数	18	2	0	13	0	0	3	16						
就職者数	340	84	53	68	71	32	32	256						
実就職率(就職者数/卒業者数-進学数)	84. 2%	74. 3%	86. 9%	87. 2%	93. 4%	82. 1%	86. 5%	88. 0%						
就職率(就職者数/就職希望者数)	96. 3%	92. 3%	98. 1%	97. 1%	100.0%	97. 0%	94. 1%	97. 7%						

<sup>\*</sup>就職者は正規雇用者、自営業、個人事業主、非正規雇用者のうち契約期間が1年以上かつ一週間あたり30時間以上勤務を予定しているもの

帝塚山学院大学大学院人間科学研究科
入試·在籍·退学·進路状況

				1日現在		人数	4	12	16		1 年 1 日	ミナレン目が	2	Δ 10	Δ 1	φ Δ	4	△ 19	Δ 15						
				2023年4月1日現在	了者】	職種	心理職	心理職			古年中	<b>郊米</b> 上 上	0	0	0	0	0	0	09						
				一覧】 [2022年度修		庚							古年中日	5来 作 貝	20	10	20	10	40	20	9				
								非常勤			₩ —	₩.	2	△ 1	0	1	2	0	2						
				【就							指作作了描述	/支 レルョル													
											非	+ = =													
		(參七點程)	情報・認知科学コース	10	0	0	0	0	#REF!			計	25	0	19	_	44	1	45		2022年度	0			
2022年度	2023年度	人間科学専攻	健康科学ロース	1	0	0	0	0			2023年度	女	12	0	11	0	26	0	26		2022				
		臨床心理学専攻	(専門職学位課程)	20	20	48	30	52	125%			男	10	0	8	_	18	1	19		年度				
		(後士課程)	情報・認知科学コース	0	0	0	0	0	10%			計	20	1	19	0	39	1	40		2021年度				
	2022年度		健康科学コース		1	1	l l	1(		2022年度	女	12	0	13	0	25	0	25		年度					
		(修士課程) 臨床心理学専攻	(専門職学位課程)	20	54	51	26	20	100%			男	8	1	9	0	14	1	15		2020年度	1			
			情報・認知科学コース	10	0	0	0	0	9			計	20	0	20	0	40	0	40						
	2021年度		健康科学コース	<u> </u>	0	0	0	0	%0		2021年度	女	14	0	17	0	31	0	31	X	異動理由	<b>郭合</b>	<del> </del>		
		臨床心理学専攻	(専門雛学位課程)	20	41	38	23	20	100%	日現在)		男	9	0	3	0	6	0	9	退学者数		一身上の都合			
己報告】				募集定員	志願者	<b>受験者</b>	<b></b> 숙格者	7.学者	定員充足率	【在籍者·退学状況】 在学者数(2023年5月1			臨床	人間科学	臨床	人間科学	臨床	人間科学	計						
【入試状況報告】				™ Imili	115	MI'	1	· \	24	【在籍者· 在学者数(			1年	<del> </del>	っ年	+		仙							

### IV 財務の概要

#### 1 2022年度決算の概要

財産目録、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書および貸借対 照表を別掲していますが、事業活動収支計算書を基に決算の概要を以下の通りご説明します。

#### 1 教育活動収支

教育活動収入は、前年比 16,823 円減少の 7,039,827 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

(1) 学生生徒等納付金は前年度に比べ、34,448 千円の増加となりました。学生数が増加したことにともない総額は4,750,271 千円となりました。

また、補助金は50,490 千円減少しましたが、付随事業収入は44,257 千円増加しました。

学生数 (単位:人)

	2021年5月1日現在	2022年5月1日現在		
幼稚園	160	158		
小学校	669	680		
泉ヶ丘中学校高等学校	1, 379	1, 406		
中学校高等学校	1, 532	1, 548		
大学・大学院	1, 791	1,791		
合計	5, 531	5, 583		

納付金 ( ) 内は、前年度決算額との増減を示し、△は減少額。

(2) 雑収入は、退職金支払の減少により退職金財団からの繰入と退職給与引当金戻入等が 51,543 千円減少したが施設設備利用料収入の増加 17,174 千円増加等により、 35,484 千円の減少となりました。

#### 2 教育活動支出

教育活動支出は、前年比 63,600 千円増加の 7,005,795 千円となりました。前年度と比較した主な増減の要因は次のとおりです。

- (1) 人件費のうち、教職員人件費は 4, 193, 584 千円と 36, 529 千円増加となりました。退職金関係支出は退職金支払・退職給与引当金繰入額等の減少が 56, 173 千円となり退職金関係支出は 151, 920 千円です。人件費全体では 19,644 千円減少の 4,345,504 千円となりました。
- (2) 教育研究経費と管理経費の合計額は2,660,291 千円で83,349 千円増加しました。光 熱費等の物価上昇とコロナからの学院活動の正常化に伴う費用が発生したことによるものです。

以上の要因により教育活動収支差額は、前年比80,423 千円収支悪化の34,032 千円の黒字となりました。

#### 3 教育活動外収支

収入の部は受取利息・配当金収入および収益事業収入の合計 30,824 千円となりました。 支出の部は計上項目がなかったことにより、教育活動外収支差額は、30,824 千円の黒 字となりました。

教育活動収支および教育活動外収支を合わせた経常収支差額は、前年比 74,708 千円収 支悪化の 64,857 千円の黒字となりました。

#### 4 特別収支差額

収入の部は施設設備助金収入と現物寄附等を合計 33,247 千円計上しました。支出の部は各設置校で不要となった図書資産処分差額等を4,613 千円計上しました。以上の要因により特別収支差額は28,634 千円の黒字となりました。

基本金組入前当年度収支差額は、前年比 52,293 千円収支良化の 93,490 千円の黒字となりました。

#### 5 基本金組入額

当年度は泉ヶ丘中学校高等学校と中学校高等学校の教室の改修、住吉校キャンパス空調 更新等を実施したことなどから、299,690 千円計上しました。

当年度収支差額は前年比 486,892 千円収支良化の△206,200 千円となり、基本金取崩額 を加味した翌年度繰越収支差額は△6,828,602 千円となりました。

# (1)令和4年度財産目録

# 財産目録令和5年3月31日現在

I 資産総額	21,269,693,566 円
うち 基本財産	17,651,668,072 円
運用財産	3,572,311,297 円
収益事業用財産	45,714,197 円
Ⅱ 負債総額	2,555,111,682 円
Ⅲ 正味財産	18,714,581,884 円

区分		金額
I 資産額		
(一)基本財産		17,651,668,072 円
1 土地	$76,846.99 \text{ m}^2$	2,494,546,470 円
2 建物	$62,347.71 \text{ m}^2$	8,842,438,740 円
付属建物	$114.92 \text{ m}^2$	8,807,152 円
構築物		308,608,243 円
3 図書	351,261 册	1,048,974,068 円
4 教具·校具·備品	8,025 点	766,492,407 円
5 その他		4,181,800,992 円
(二)運用財産		3,572,311,297 円
1 現金、預金		3,399,775,879 円
2 有価証券		0 円
3 その他		172,535,418 円
(三)収益事業用財産		45,714,197 円
1 預金		45,714,197 円
2 未収入金		0 円
合 計		21,269,693,566 円
Ⅱ 負債額		
(一)固定負債		1,406,670,375 円
1 長期借入金		0 円
2 学校債		403,800,000 円
3 引当金		971,812,833 円
4 長期未払金		31,057,542 円
(二)流動負債		1,145,100,207 円
1 短期借入金(短期学校債含)	む)	112,600,000 円
2 短期未払金		440,400,384 円
3 前受金		443,051,300 円
4 その他		149,048,523 円
(三)収益事業用負債		3,341,100 円
1 未払法人税等		3,341,100 円
合 計		2,555,111,682 円
正味財産(資産総額-負債総額)		18,714,581,884 円

## (2)令和4年度資金収支計算書

## 比較資金収支計算書

収入の部			
科目	令和3年度	令和4年度	差 異
学生生徒等納付金収入	4,715,823,683	4,750,271,212	34,447,529
手数料収入	78,053,422	72,823,515	△ 5,229,907
寄付金収入	133,017,589	128,618,313	△ 4,399,276
補助金収入	1,664,569,098	1,634,275,157	△ 30,293,941
資産売却収入	990,000,000	530,000,000	△ 460,000,000
付随事業•収益事業収入	241,296,287	285,552,916	44,256,629
受取利息·配当金収入	23,109,681	28,824,319	5,714,638
雑収入	205,035,740	196,744,516	△ 8,291,224
借入金等収入	107,800,000	86,600,000	△ 21,200,000
前受金収入	485,131,650	443,051,300	$\triangle$ 42,080,350
その他の収入	1,374,389,015	835,426,594	△ 538,962,421
資金収入調整勘定	△ 662,120,381	△ 655,082,988	7,037,393
前年度繰越支払資金	4,485,671,623	3,804,932,261	$\triangle$ 680,739,362
収入の部合計	13,841,777,407	12,142,037,115	△ 1,699,740,292
支出の部			
科目	令和3年度	令和4年度	差 異
人件費支出	4,370,143,474	4,376,282,031	6,138,557
教育研究経費支出	1,467,724,993	1,467,494,804	△ 230,189
管理経費支出	597,294,150	624,878,337	27,584,187
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	127,940,000	86,480,000	△ 41,460,000
施設関係支出	158,773,668	158,138,375	△ 635,293
設備関係支出	124,586,189	215,940,436	91,354,247
資産運用支出	2,321,989,176	1,769,139,212	△ 552,849,964
その他の支出	1,264,504,071	464,199,334	△ 800,304,737
資金支出調整勘定	△ 396,110,575	$\triangle$ 420,291,293	△ 24,180,718
翌年度繰越支払資金	3,804,932,261	3,399,775,879	△ 405,156,382
支出の部合計	13,841,777,407	12,142,037,115	△ 1,699,740,292

## (3)令和4年度活動区分資金収支計算書

## 活動区分資金収支計算書

令和 4年 4月 1日から 令和 5年 3月31日まで

		科 目	金額
		学生生徒等納付金収入	4,750,271,212
		手数料収入	72,823,515
		特別寄付金収入	42,842,324
教育活動	収	一般寄付金収入	83,325,654
活	入	経常費等補助金収入	1,609,101,157
		付随事業収入	283,552,916
によ		雑収入	196,744,516
よる		教育活動資金収入計	7,038,661,294
る資		人件費支出	4,376,282,031
金四	支	教育研究経費支出	1,467,494,804
収支	出	管理経費支出	624,878,337
		教育活動資金支出計	6,468,655,172
		差引	570,006,122
		調整勘定等	5,271,463
		教育活動資金収支差額	575,277,585
施		科 目	金額
設	ılπ	施設設備寄付金収入	2,450,335
設整備等活動	収	施設設備補助金収入	25,174,000
備	入	減価償却引当特定資産取崩収入	30,000,000
活		施設整備等活動資金収入計	57,624,335
動		施設関係支出	158,138,375
にト	支	設備関係支出	215,940,436
よる	出	減価償却引当特定資産繰入支出	630,000,000
資		施設整備等活動資金支出計	1,004,078,811
金収		差引	△ 946,454,476
支		調整勘定等	△ 20,196,000
		施設整備等活動資金収支差額	△ 966,650,476
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 391,372,891
		科 目	金額
そ	ılπ	借入金等収入	86,600,000
の他	収	有価証券売却収入	530,000,000
$\mathcal{O}$	入	退職給与引当特定資産取崩収入	501,525,258
活		学校債引当特定資産取崩収入	2,613,954
動		百周年奨学金引当特定資産取崩収入	112,000,000

		仮払金回収収入	4,900,000
		小計	1,237,639,212
		受取利息·配当金収入	28,824,319
に		収益事業収入	2,000,000
よ		その他の活動資金収入計	1,268,463,531
る資		借入金等返済支出	86,480,000
金		有価証券購入支出	530,000,000
収支		退職給与引当特定資產繰入支出	501,525,258
文	支	学校債引当特定資産繰入支出	2,613,954
		百周年奨学金引当特定資産繰入支出	105,000,000
	出	預り金支払支出	55,427,002
		立替金支払支出	1,200,808
		小計	1,282,247,022
		その他の活動資金支出計	1,282,247,022
		差引	△ 13,783,491
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	△ 13,783,491
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 405,156,382
		前年度繰越支払資金	3,804,932,261
		翌年度繰越支払資金	3,399,775,879

# (4)令和4年度事業活動収支計算書

# 比較事業活動収支計算書

		科 目	令和3年度	令和4年度	差 異
	事	学生生徒等納付金	4,715,823,683	4,750,271,212	34,447,529
	業活	手数料	78,053,422	72,823,515	△ 5,229,907
	動	寄付金	131,657,399	127,333,698	△ 4,323,701
	収	経常費等補助金	1,659,591,098	1,609,101,157	△ 50,489,941
教	入の	付随事業収入	239,296,287	283,552,916	44,256,629
育	部	雑収入	232,228,532	196,744,516	△ 35,484,016
活動		教育活動収入計	7,056,650,421	7,039,827,014	△ 16,823,407
収	事	科 目	令和3年度	令和4年度	差 異
支	業活	人件費	4,365,148,435	4,345,503,957	△ 19,644,478
	動	教育研究経費	1,972,893,654	1,988,506,814	15,613,160
	支出	管理経費	604,048,489	671,783,986	67,735,497
	の	徴収不能額等	104,668	0	△ 104,668
	部	教育活動支出計	6,942,195,246	7,005,794,757	63,599,511
		教育活動収支差額	114,455,175	34,032,257	△ 80,422,918
	収事	科 目	令和3年度	令和4年度	差 異
Fat.	入業	受取利息•配当金	23,109,681	28,824,319	5,714,638
教育	の活部動	その他の教育活動外収入	2,000,000	2,000,000	0
活	口 到	教育活動外収入計	25,109,681	30,824,319	5,714,638
動	支事 出業	科 目	令和3年度	令和4年度	差 異
外収		借入金等利息	0	0	0
収支	の活部動	その他の教育活動外支出	0	0	0
	口19 至月	教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	25,109,681	30,824,319	5,714,638
		経常収支差額	139,564,856	64,856,576	△ 74,708,280
	収事	科  目	令和3年度	令和4年度	差 異
	入業	資産売却差額	0	0	0
	の活部動	その他の特別収入	16,229,084	33,246,799	17,017,715
特 別	11 391	特別収入計	16,229,084	33,246,799	17,017,715
収支	支事	科  目	令和3年度	令和4年度	差 異
支	出業	資産処分差額	77,653,413	4,612,960	△ 73,040,453
	の活部動	その他の特別支出	36,942,712	0	△ 36,942,712
	11 391	特別支出計	114,596,125	4,612,960	△ 109,983,165
		特別収支差額	△ 98,367,041	28,633,839	127,000,880
	-	前当年度収支差額	41,197,815	93,490,415	52,292,600
	-	(額合計	△ 734,289,951	△ 299,690,414	434,599,537
-	度収支		△ 693,092,136	△ 206,199,999	486,892,137
-		<b>型収支差額</b>	△ 6,096,270,399	△ 6,639,765,709	△ 543,495,310
	金取崩		149,596,826	17,364,005	△ 132,232,821
		遂収支差額	△ 6,639,765,709	△ 6,828,601,703	△ 188,835,994
(参:					
-	活動収		7,097,989,186	7,103,898,132	5,908,946
事業	<b>注活動</b> 支	え出計 ニュー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー	7,056,791,371	7,010,407,717	△ 46,383,654

## (5)令和4年度貸借対照表

負債及び純資産の部 合計

# 貸借対照表 令和5年3月31日

			(単位:円)
資産の部	-1.4 F 1 F -1.4	24 F F 4	124 \
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	17,651,668,072	17,248,314,010	403,354,062
有形固定資産	13,469,867,081	13,652,202,682	△ 182,335,601
土地	2,494,546,470	2,494,546,470	0
建物	8,851,245,892	9,084,940,932	△ 233,695,040
構築物	308,608,243	314,771,662	△ 6,163,419
教育研究用機器備品	695,328,165	634,619,765	60,708,400
図書	1,048,974,068	1,042,439,817	6,534,251
その他の有形固定資産	71,164,243	80,884,036	$\triangle 9,719,793$
特定資産	4,129,370,000	3,536,370,000	593,000,000
その他の固定資産	52,430,991	59,741,328	△ 7,310,337
流動資産	3,572,311,297	3,993,687,241	$\triangle$ 421,375,944
現金預金	3,399,775,879	3,804,932,261	△ 405,156,382
有価証券	0	0	0
その他の流動資産	172,535,418	188,754,980	$\triangle$ 16,219,562
資産の部合計	21,223,979,369	21,242,001,251	△ 18,021,882
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,406,670,375	1,447,048,460	△ 40,378,085
学校債	403,800,000	390,980,000	12,820,000
退職給与引当金	971,812,833	1,002,590,907	△ 30,778,074
長期未払金	31,057,542	53,477,553	△ 22,420,011
流動負債	1,145,100,207	1,216,234,419	△ 71,134,212
1年以内償還予定学校債	112,600,000	125,300,000	△ 12,700,000
前受金	443,051,300	485,131,650	△ 42,080,350
その他の流動負債	589,448,907	605,802,769	△ 16,353,862
負債の部合計	2,551,770,582	2,663,282,879	$\triangle$ 111,512,297
NRV PP I PI	2,001,110,002	2,000,202,010	<u> </u>
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	25,500,810,490	25,218,484,081	282,326,409
第1号基本金	24,825,440,490	24,543,114,081	282,326,409
			202,320,408
	124,370,000	124,370,000	(
第4号基本金	551,000,000	551,000,000	\ 100.02F.004
繰越収支差額	△ 6,828,601,703	△ 6,639,765,709	△ 188,835,994
翌年度繰越収支差額	△ 6,828,601,703	△ 6,639,765,709	△ 188,835,994
純資産の部合計	18,672,208,787	18,578,718,372	93,490,415
~\ldots		34 E 1	134 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
科 目	本年度末	前年度末	増減

21,223,979,369

21,242,001,251

△ 18,021,882

## (6) 収益事業 貸借対照表

# 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

<b>∆</b> I ⊔	<u> </u>	A 1	人。如何
科目	金額	科 目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
No of the sta		New order for the	
流 動 資 産	45,714,197	流動負債	3,341,100
預金	45,714,197	未払法人税等	2,666,700
·			
未収入金	0	未払消費税等	674,400
		(純資産の部)	
		到光剩人人	40.070.007
		利益剰余金	42,373,097
		その他利益剰余金	42,373,097
		別途積立金	3,500,000
		繰越利益剰余金	38,873,097
	45,714,197	┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	45,714,197
具 生 口 叫	40,114,131	人名 机对连口机	40,114,131

## (7)収益事業 損益計算書

# 損益計算書

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

~ □		(—  <u> </u>
科目	金	額
【 売 上 高 】 受 取 割 戻 金	6,338,887	6,338,887
【 販売費及び一般管理費 】 租 税 公 課	596,000	, ,
		9 500 000
寄付金	2,000,000	2,596,000
営 業 利 益		3,742,887
【営業外収益】		
受 取 利 息	475	
雑 収 入	220,976	221,451
経常利益		3,964,338
税引前当期純利益		3,964,338
法人税、住民税及び事業	税	652,200
当 期 純 利 益		3,312,138

## 2. 経年比較

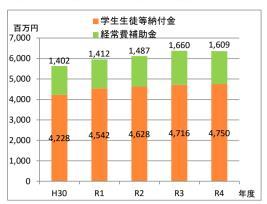
### (1)資金収支の推移(平成30年度~令和4年度)

	科 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	学生生徒等納付金収入	4,227,616	4,541,962	4,628,317	4,715,824	4,750,271
	手 数 料 収 入	82,048	93,878	82,645	78,053	72,824
	寄 付 金 収 入	119,325	104,255	102,690	133,018	128,618
	補 助 金 収 入	1,423,380	1,428,939	1,518,731	1,664,569	1,634,275
収	資 産 売 却 収 入	967,897	1,504,814	2,111,256	990,000	530,000
	付随事業·収益事業収入	308,800	302,025	193,239	241,296	285,553
入	受取利息・配当金収入	15,429	20,245	23,402	23,110	28,824
の	雑 収 入	314,568	215,156	169,469	205,036	196,745
	借入金等収入	88,100	91,100	94,400	107,800	86,600
部	前 受 金 収 入	493,170	462,816	478,509	485,132	443,051
	その他の収入	1,943,173	1,384,975	1,330,144	1,374,389	835,427
	資金収入調整勘定	$\triangle$ 690,454	△ 690,960	△ 643,621	△ 662,120	△ 655,083
	前年度繰越支払資金	3,877,124	3,754,127	3,723,252	4,485,672	3,804,932
	収入の部合計	13,170,176	13,213,332	13,812,432	13,841,777	12,142,037
	人 件 費 支 出	4,410,046	4,365,694	4,344,236	4,370,143	4,376,282
	教育研究経費支出	1,240,898	1,260,807	1,859,146	1,467,725	1,467,495
	管理経費支出	564,672	568,838	643,430	597,294	624,878
支	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	119,380	136,900	93,900	127,940	86,480
出	施設関係支出	310,364	162,877	1,462,652	158,774	158,138
の	設 備 関 係 支 出	190,339	213,693	313,987	124,586	215,940
	資 産 運 用 支 出	2,677,443	2,635,642	1,345,452	2,321,989	1,769,139
部	その他の支出	584,682	662,324	527,052	1,264,504	464,199
	資金支出調整勘定	△ 681,775	△ 516,697	△ 1,263,094	△ 396,111	△ 420,291
	次年度繰越支払資金	3,754,127	3,723,252	4,485,672	3,804,932	3,399,776
	支 出 の 部 合 計	13,170,176	13,213,332	13,812,432	13,841,777	12,142,037

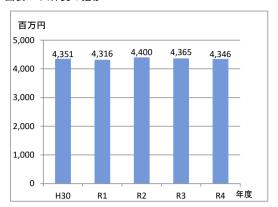
## (2)事業活動収支の推移(平成30年度~令和4年度)

							(単位:千円)
		科 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
		学生生徒等納付金	4,227,616	4,541,962	4,628,317	4,715,824	4,750,271
	ıΙπ	手数料	82,048	93,878	82,645	78,053	72,824
の部	八入	寄付金	114,554	101,907	102,018	131,657	127,334
	0)	経常費等補助金	1,401,662	1,412,297	1,487,408	1,659,591	1,609,101
教	部	付随事業収入	306,800	300,025	191,239	239,296	283,553
育		雑収入	362,204	217,835	337,191	232,229	196,745
活動		教育活動収入計	6,494,885	6,667,903	6,828,819	7,056,650	7,039,827
収		科目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
支	+	人件費	4,350,951	4,315,919	4,399,979	4,365,148	4,345,504
	支出	教育研究経費	1,766,290	1,816,893	2,430,005	1,972,894	1,988,507
	0)	管理経費	592,896	606,805	689,231	604,048	671,784
	部	<b>徴収不能額等</b>	1,314	854	0	105	0
		教育活動支出計	6,711,451	6,740,471	7,519,214	6,942,195	7,005,795
			△ 216,566	△ 72,567	△ 690,395	114,455	34,032
	, I	科目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	収入	受取利息•配当金	15,429	20,245	23,402	23,110	28,824
教の	その他の教育活動外収入	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
育舌	部	教育活動外収入計	17,429	22,245	25,402	25,110	30,824
勆	-	科目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
补	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
又 友	の部	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
ļ		教育活動外収支差額	17,429	22,245	25,402	25,110	30,824
		経常収支差額	△ 199,138	△ 50,323	△ 664,994	139,565	64,857
		科目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	· I	資産売却差額	0	0	113	0	0
	収入	その他の特別収入	29,919	23,394	37,440	16,229	33,247
	0	うち、施設設備寄付金	4,975	3,121	1,612	2,401	2,450
寺	部	うち、施設設備補助金	21,718	16,642	31,323	4,978	25,174
汉		特別収入計	29,919	23,394	37,553	16,229	33,247
支	4	科目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	支出	資産処分差額	9,582	30,242	2,029,236	77,653	4,613
	の	その他の特別支出	0	0	0	36,943	0
	部	特別支出計	9,582	30,242	2,029,236	114,596	4,613
,		特別収支差額	20,337	△ 6,848	△ 1,991,683	△ 98,367	28,634
基本	全組	1入前当年度収支差額	△ 178,801	△ 57,171	△ 2,656,677	41,198	93,490
基本	金組	1入額合計	△ 394,830	△ 266,687	△ 194,946	△ 734,290	△ 299,690
当年	E度収		△ 573,631	△ 323,857	△ 2,851,622	△ 693,092	△ 206,200
<b>前</b> 年	E度網		△ 9,183,614	△ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270	△ 6,639,766
		対解	13,108	59,901	6,763,446	149,597	17,364
		越収支差額	△ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270	△ 6,639,766	△ 6,828,602
	考)		, , , , , ,	. ,			. ,
		b収入計	6,542,233	6,713,542	6,891,774	7,097,989	7,103,898
		。 カ支出計(予備費含む)	6,721,033	6,770,713	9,548,450	7,056,791	7,010,408
. /		P額	553,413	593,280	615,719	547,898	568,190

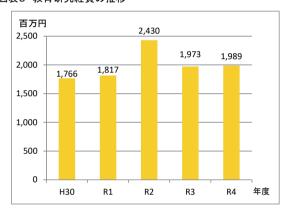
図表1 学生生徒等納付金+補助金の推移



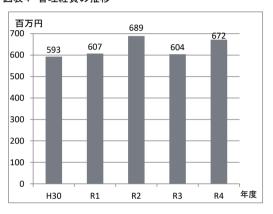
図表2 人件費の推移



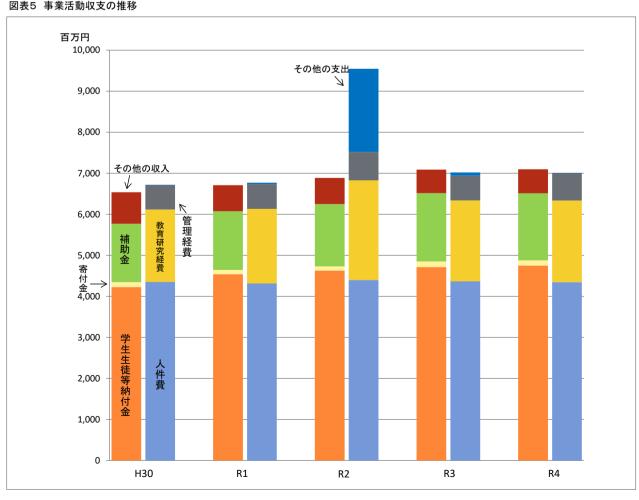
図表3 教育研究経費の推移



図表4 管理経費の推移



図表5 事業活動収支の推移



△ 300 △ 206 令和4年度決算 4,750 4,346 △ 6,829 93 7,010 7,104 **©** 693 令和3年度決算 △ 6,640 4,716 4,365 41 7,057 △ 734 7,098 △ 2,852 令和2年度決算 4,628 4,400 960′9 ∇ 9,548 △ 2,657 **△** 324 △ 194 **■**基本金組入前当年度収支差額 6,892 令和元年度決算 △ 57 4,542 4,316 ∆ 10,008 6,771 △ 267 --人件費 6,714 △ 395 △ 179 <mark>△ 574</mark> 平成30年度決算 4,351 4,228 △ 9,744 6,721 6,542  $\Delta$   $\frac{250}{\Delta}$   $\Delta$   $\frac{\Delta}{20}$ 平成29年度決算 ■ 当年度収支差額 → 学生生徒納付金 4,212 4,153 基本金組入額 ■■事業活動収入 △ 9,184 6,411 6,391 Δ 25 平成28年度決算 4,238 157 4,033 6,224 △ 8,914 △ 182 6,381 △ 785 **△ 382** 平成27年度決算 4,316 4,071 403 ∇ 8,895 6,102 6,505 A 78 す 4,340 271 平成26年度決 △ 8,625 6,176  $\Delta$  350 6,447 328 28 平成25年度決算 4,442 △ 8,552 6,192 △ 299 6,520 百万円 10,000 2,000 △ 2,000 000′9 ∇ 8,000 4,000 0 △ 4,000 △ 8,000 6,000 △ 12,000 ∆ 10,000

図表6 平成25年度~令和4年度年度別事業活動(旧消費)収支計算推移表

#### (3)貸借対照表の推移(平成30年度~令和4年度)

						資 産	き の 草	部		
		科	目			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
固		定	資	F	産	20,372,636	20,171,315	17,409,361	17,248,314	17,651,668
	有	形	国 定	資	産	16,683,038	16,412,081	13,975,944	13,652,203	13,469,867
		う ち	``	土	地	3,017,379	3,017,379	2,494,546	2,494,546	2,494,546
		う ち	`	建	物	10,075,189	9,784,962	9,349,350	9,084,941	8,851,246
		うち	、棒	<b>弊</b>	物	273,845	262,230	280,140	314,772	308,608
		うち、教	育研究	用機器備	品	558,843	567,694	710,472	634,620	695,328
		う ち	`	図	書	2,696,393	2,678,773	1,040,869	1,042,440	1,048,974
				固定資	_	61,390	101,044	100,567	80,884	71,164
	特	定	ì	資	産	3,656,370	3,698,370	3,361,370	3,536,370	4,129,370
	そ		の固	定資	産	33,228	60,864	72,048	59,741	52,431
流		動	資	ŧ	産	4,035,435	3,924,905	4,672,196	3,993,687	3,572,311
	う		見 金	• 預	金	3,754,127	3,723,252	4,485,672	3,804,932	3,399,776
	う	ち、		西 証	券	0	0	0	0	0
_	そ		の		他	281,308	201,653	186,524	188,755	172,535
資	)2	産 の	部	合	計	24,408,071	24,096,220	22,081,557	21,242,001	21,223,979
						<b>5</b> 14		l san		
		T)				負 債		部 0 年 京	o ber ete	s for other
7.1		<u>科</u>	目		/±c	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
固	2	定			債	1,708,978	1,631,660	1,528,678	1,447,048	1,406,670
	う	ち、 卦	<b>基期</b>	借入	金	0	0	0	0	100,000
	う う、	ち、 + 3B F		校	債	454,620	416,420	423,620	390,980	403,800
	ラ そ	ち、退り		与 引 当	金他	1,203,812	1,151,358	1,039,379	1,002,591	971,813
流	~	動	の <b>負</b>		債	50,546	63,882	65,679	53,478	31,058
Лί	う	<b>男</b>		借入	金	1,447,725	1,270,363	2,015,358	1,216,234	1,145,100
	うう	り、 x ち、、	前	受	金	402.170	469.916	470 500	485,132	442.0F1
	そ	9 ,	D EII		他	493,170	462,816	478,509		443,051
負		責 の	部	合	計	954,556 <b>3,156,703</b>	807,548 <b>2,902,023</b>	1,536,849 <b>3,544,036</b>	731,103 <b>2,663,283</b>	702,049 <b>2,551,771</b>
_		<b>X</b> • 7	нн		н	0,100,100	2,302,023	0,011,000	2,000,200	2,001,111
						純 資	産の	部		
		科	目			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
基	全					30,995,505	31,202,291	24,633,791	25,218,484	25,500,810
	ア	第 1	号	基本	金	30,435,135	30,641,921	24,073,421	24,543,114	24,825,440
	イ	第 2	号	基本	金	0	0	0	0	0
	ウ	第 3	号	基本	金	124,370	124,370	124,370	124,370	124,370
	エ	第 4	号	基本	金	436,000	436,000	436,000	551,000	551,000
嬠	遂収っ	支差額				△ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270	△ 6,639,766	△ 6,828,602
	翌	年 度 縲	越収	支差	額	$\triangle$ 9,744,137	△ 10,008,094	△ 6,096,270	$\triangle$ 6,639,766	△ 6,828,602
吨	資	産	の部	合	計	21,251,368	21,194,197	18,537,521	18,578,718	18,672,209
										-
		科	<u> </u>			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
負	賃 /	及び純う	筆 産 の	)部合	計	24,408,071	24,096,220	22,081,557	21,242,001	21,223,979
参	考)									
		科	目			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
减	価値	賞却の累	計額	の合計	額	13,787,864	14,258,473	10,519,688	10,908,407	11,375,147
/50	/	償 却 資	産 取	7 得 価	額	24,782,402	25,023,350	21,024,307	21,073,587	21,342,128
减减	価	貝 4 貝		- 10 іш	F2 (					
咸	/曲		未組		額	68,979	89,481	498,202	75,399	68,149
		金	未組	1 入	_	68,979 1,300,000	89,481 1,300,000	498,202 1,200,000	75,399 1,200,000	68,149 1,200,000

#### (4)財務比率表の推移(平成30年度~令和4年度)

		区分		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	比率	算式(×100)	30年度	兀平及	2年度	3年度	4年度	
	人件費比率	人件費 経常収入	<u>(5)</u> (4) + (10)	66.8%	64.5%	64.2%	61.6%	61.5%
	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	<u> </u>	102.9%	95.0%	95.1%	92.6%	91.5%
	教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	<u>(6)</u> (4) + (10)	27.1%	27.2%	35.5%	27.9%	28.1%
事業	管理経費比率	管理経費 経常収入	<u>7</u> <u>4</u> + <u>10</u>	9.1%	9.1%	10.1%	8.5%	9.5%
活	借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	<u>(1)</u> (4) + (10)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
動収	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	<u>16</u>	-2.7%	-0.9%	-38.5%	0.6%	1.3%
支	基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入一基本金組入額	<u>19</u> 	109.3%	105.0%	142.6%	110.9%	103.0%
収支	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	<u>(1)</u> (4) + (10)	64.9%	67.9%	67.5%	66.6%	67.2%
計	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	<u>(2)</u> + (14) (18)	1.8%	1.6%	1.5%	1.9%	1.8%
算書	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 経常収入	<u>2</u> <u>4</u> + <u>10</u>	1.8%	1.5%	1.5%	1.9%	1.8%
関係	補助金比率	補助金 事業活動収入	<u>3 + 15</u> <u>18</u>	21.8%	21.3%	22.0%	23.5%	23.0%
比	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 経常収入	(3) (4) + (10)	21.5%	21.1%	21.7%	23.4%	22.8%
率	基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	<u>(17)</u> (18)	6.0%	4.0%	2.8%	10.3%	4.2%
	減価償却額比率	減価償却額 経常支出	<u>20</u> <u>8</u> + 12	8.2%	8.8%	8.2%	7.9%	8.1%
	経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	<u>(13)</u> (4) + (10)	-3.1%	-0.8%	-9.7%	2.0%	0.9%
	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	9	-3.3%	-1.1%	-10.1%	1.6%	0.5%

(注記)

小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位までを記入。

	区	分		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	比率	算式(×100)		001/2	九十人	21/2	01/2	工厂及
	固定資産構成比率	固定資産 総資産	A G	83.5%	83.7%	78.8%	81.2%	83.2%
	有形固定資産構成比率	有形固定資産 総資産	B G	68.4%	68.1%	63.3%	64.3%	63.5%
	特定資産構成比率	<u>特定資産</u> 総資産	C G	15.0%	15.3%	15.2%	16.6%	19.5%
	流動資産構成比率	流動資産 総資産	D G	16.5%	16.3%	21.2%	18.8%	16.8%
	固定負債構成比率	固定負債 負債 + 純資産	H R	7.0%	6.8%	6.9%	6.8%	6.6%
	流動負債構成比率	流動負債 負債 + 純資産	J R	5.9%	5.3%	9.1%	5.7%	5.4%
	内部留保資産比率	運用資産 - 総負債 総資産	(E+C+F)-L G	17.4%	18.8%	19.5%	22.0%	23.5%
貸	運用資産余裕比率	<u>運用資産 - 外部負債</u> 経常支出	(E+C+F)-(L-K-I) (8) + (12)	88.7%	91.0%	77.4%	88.8%	91.2%
借	純資産構成比率	純資産 負債 + 純資産	Q R	87.1%	88.0%	84.0%	87.5%	88.0%
対	繰越収支差額構成比率		P R	-39.9%	-41.5%	-27.6%	-31.3%	-32.2%
照	固定比率	固定資産 純資産	A 	95.9%	95.2%	93.9%	92.8%	94.5%
表	固定長期適合率	固定資産 純資産 + 固定負債	A Q+H	88.7%	88.4%	86.8%	86.1%	87.9%
	流動比率	流動資産 流動負債		278.7%	309.0%	231.8%	328.4%	312.0%
	総負債比率	終負債 総資産	L G	12.9%	12.0%	16.0%	12.5%	12.0%
	負債比率	2 総負債 純資産	L Q	14.9%	13.7%	19.1%	14.3%	13.7%
	前受金保有率	<u>現金預金</u> 前受金	<u>Е</u> К	761.2%	804.5%	937.4%	784.3%	767.4%
	退職給与引当特定資産保有率		W W	108.0%	112.9%	115.5%	119.7%	123.5%
	基本金比率	基本金 基本金要組入額	M+U	99.8%	99.7%	98.0%	99.7%	99.7%
	減価償却比率	減価償却累計額(図書を除く)  減価償却資産取得価額(図書を除く)	S T	55.6%	57.0%	50.0%	51.8%	53.3%
	積立率	運用資産 要積立額	E+C+F S+I+N+O	49.0%	47.8%	67.2%	61.0%	60.4%